

きよさと 組合だより



No.357

謹賀新年



6 集団『大きなビート』

年頭にあたって

もくじ

令和2年の年頭にあたり

清里町農業協同組合代表理事組合長

石井

透...2

新年のご挨拶

北海道農業協同組合中央会会長

飛田

稔章...4

新年のご挨拶

清里町農民連盟委員長

二俣

清史...5

新年のご挨拶

ホクレン斜里原料所所長

中山

伸哉...6

網走農業改良普及センター清里支所支所長

榮田

耕一...7

新年のご挨拶

清里町農協青年部部長

辺見

裕介...8

新年のご挨拶

JA 清里町女性部部長

前中

房枝...9

第8回 JA 清里町収穫感謝祭

...

10

第34回 JA 清里町女性部研修会

...

11

新規共済契約者様温泉旅行親睦会

...

12

農業座談会

...

13

廃プラリサイクル回収

...

13

年末・年始の業務日程

...

14

年末・年始（正月）のATM稼働状況のご案内

...

14

理事会の経過をお知らせ致します

...

15

組合員状況

...

15

年末・年始（正月）のJA共済からのご案内

...

15



2020年

1

令和2年

年頭のご挨拶

年頭にあたって



清里町農業協同組合

代表理事組合長

石井

透

新年明けましておめでとうございます。

昨年は新天皇陛下の御即位がらみに行われ、平成から令和へと改元された新しい時代を迎えた年となりました。組合員ご家族の皆様は、ご健勝の中、新元号の「令和」として新春を迎えられましたことに、心よりお慶び申し上げます。

本年度は、災害や事故等が無く天候に恵まれて一年の成果が実を結び、飛躍の年と成りますことをご祈念申し上げますと共に、今後心配される国内外での農業情勢や環境の変化等の諸課題対応に向け、組合員と役員が一丸と成り取り組みを進めていかなければなりません。そして、経営の安定や生活の向上に努めて参りますので、今

後とも変わらぬお力添えとご指導の程よろしくお願い致します。

昨年は振り返りますと、新天皇陛下の御即位の他にも色々情勢変化の多い年となり、消費税においては10月より8%から10%の増税となり、食料品を中心に軽減税率も導入されましたが、複雑な処理対応に苦慮した年となりました。また、貿易交渉もTPP11発行に続き、日EU・EPA交渉も2月に発行され、更には米国との物品貿易協定（TAG）も協議され一定の譲歩を迫られる内容と成り、国会で承認された不安定な農業情勢の一年間となったと感じています。

またここ数年は、毎年のように全国の各地域で、地震や台風によ

る集中豪雨、強風等で、多くの甚大な自然災害が発生しており、その中においても農業被害は全国各地で多数発生しております。昨年度の災害のなかで、当JAとイチゴ苗リレーや各種祭事等で親交のある栃木県JA佐野においても、台風19号等の影響での降雨による河川の決壊等で、水田やイチゴハウス等に多くの農業被害が出ました。この被害状況を鑑み、昨年12月にお見舞いを兼ねJA佐野に出向きましたが、現状は想像以上であり、冠水状態の収穫できない水田も多く見られ、またハウス施設でも倒壊や浸水等大変な想像以上の被害でした。JA佐野としても、全職員と被害の少なかつた組合員の協力を得て、ハウスの解

体の他ハウス内の流入土砂を一輪車で搬出除去し、その後苗等を洗浄する作業も行われており、時期は遅れますが何とか収穫可能なイチゴも一定程度あると聞き、協力の力と復旧に向けた力強さを感じてきました。心より早期復旧を願っております。

清里町においても、5月18日から21日にかけて強風が吹き続き、特に20日には、20mを超える突風が吹き荒れ、特に甜菜では900ha、馬鈴しよで278ha、玉ねぎや長芋他20ha等全体で約1200haに及ぶ多くの被害を受けました。農協と致しまして、関係機関と連携を取りながら敏速な対応を心がけて参りましたが、甜菜の被害が広範囲となりポット苗の確保供給での初動対応においてスムーズな連携が出来ず今後の課題となりました。しかし、職員を中心として清里町内関係機関のご協力をいただきながら、一週間にわたり述べ200名を超える応援態勢で甜菜の補植作業の援農を行い、何とか被害の大きかった組合員への救済は多少なりともお手伝いが行えたと思っております。また馬鈴しよも種子芋の露出等での被害もありましたが、GPSを活用したスムーズな土掛け作業を行い手当てができ、改めてICT先端技

術のすばらしさを実感したところです。今回の風害等の被害に見舞われた組合員の皆様にお見舞い申し上げますと共に、援農に対しご協力いただいた清里町並びに関係機関の皆様には、心よりお礼と感謝申し上げます。

昨年の作況状況ですが、風害等で春先よりつまずき、出来秋を心配しておりましたが、秋小麦では蒔萎縮病の発生圃場が多く散見され大変心配の中、各麦作集団のご協力をいただきながら、7月末より「きたほなみ」の刈り取りが始まり、後半雨の影響も受けて刈取り作業に少し難儀したところではあります。お盆前までには無事「春よ恋」までの収穫を終えることが出来ました。秋小、春小とも単位収量で当農協最高を記録し、品質基準も全量1等Aランクと成り、量及び質とも良い年と成りました。被害の多かった甜菜においても現状では単位収量が過去最高となる見込みです。春先の苦労が実を結んだ結果となり喜んでおります。

また、2年目を迎えた大豆刈り取りについても大豆組合の協力の中、順調な刈り取り作業と乾燥が出来、大豆や小豆等の豆類は平年作以上に収量が確保できました。しかしながら、馬鈴しよでは早魃

傾向の天候の影響を受け、平年作までには少し届かない状況となりましたが、ある程度の成果となっておりです。青果関係においては販売単価が軟調で推移しておりますが、今後の相場回復を期待しているところです。酪農、畜産では、個体販売で若干の下げ基調がありますが生乳生産も安定しております。色々な災害等もありましたが、令和元年度は、総じて良い傾向で進んだことに安堵したところです。

農協事業にしましては、第9期5カ年計画の最終年を迎えて、業務課事務所兼資材店舗の新築工事を行い11月末より営業をスタート致しました。それに伴い昭和59年増設工事以来の事務所内レイアウトも進めており、事務所内の中心部に組合員や家族の皆様が有効的活用をしていただく為の休憩スペースも広く設置しております。今後は旧業務課事務所空きスペースを活用し、金融店舗のレイアウトも本年度計画しております。

労働力不足につきましては、根本的解消には至りませんが、中斜里製糖工場の協力による時き付け時の労働力派遣対応、大豆振興に伴う大型コンバイン導入による刈取り共同収穫作業、昨年度より試験的に始めた業者による部分的な

小麦の運搬等色々な場面で現在模索中であり、今後より一層の充実した展開が必要と考えております。

本年度の農業情勢ですが、TPP11や日EU・EPA協定も4月より3年目に入り、一段と関税削減率が高くなる上に日米物品貿易協定（TAG）も昨年末国会承認され年明けの発効と言われております。3協定とも道内農畜産物に与える影響は大きく、清里農業も例外ではないと考えます。また、3年ごとに見直し精査されて決定される経営所得安定対策直接支払い交付金（ゲタ対策）単価改定は、澁原馬鈴しよや大豆ではプラス改定であったものの、小麦、甜菜ではマイナス改定となり清里町全体の作付面積割合で置き換えると収入減と予想されます。それ以外にも人件費、生産資材費、輸送費等の農業生産に係る各種コスト上昇も避けられない厳しい環境に向かっておりますので、今後の農政動向がとても大事になります。

更に、大変心配の多い昨年近隣で発生が確認されたシロシスト線虫（GRP）ですが、近隣圃場及び町内圃場においても昨年末に土壌採取し、今年春までには診断結果が出る予定です。発生の有無はとも心配ですが、状況によつては、

対応、対策も考えていかねばなりません。また、黄色シスト（GR）も町内広範囲の圃場で発生し年々拡大しておりますので、土づくりを基本とした中、輪作体系の構築も進めて行かねばなりません。

農協事業においては、金融政策や少子高齢化等の影響を受け、特に信用、共済事業は厳しい時代へと進んでおりますし、農協施設運営も人員確保や施設老朽化等諸問題を抱えており、今後の施設管理の在り方を今一度考えながら省力化や期間短縮に向けた取組み等、地元企業等との協力も模索しながら進めて行きたいと思っております。中長期的視点が必要な課題も有ります第10期5カ年計画をベースとして、一年一年の計画と実践を積み上げながら課題解決に向け、組合員と役職員が結集し協力をいいただきながら取り組んで参りたいと考えております。

結びに当たり、本年が豊穣の出来秋になりますことと、組合員ご家族皆様のご健勝と更なるご活躍をする年と成りますようご祈念申し上げますと共に、農協事業推進に結集していただけるようご理解ご協力お願い申し上げます、年頭のご挨拶と致します。

年頭のご挨拶

令和2年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会

会長 飛田 稔 章



組合員並びにJA役職員の皆様には、輝かしい令和2年の新年を迎えられたものと心より、お慶び申し上げます。

皆様におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げます。次第です。

昨年の北海道農業は、春先に道内各地において強風に見舞われ、広範囲にわたり農業被害が発生し、一部蒔き直しが必要になった地区も発生しました。

その後は干ばつ等もありましたが、天候は順調に推移したことで収穫も進みました。お米の作況指数が104の「やや良」、小麦、てん菜は平年作以上となる結果と

なり、生乳は良質な飼料作物確保による安定的な生産が見込まれ、作目によって違いはありますが概ね良い出来秋を迎えることができたと感じております。

しかしながら、全国的には8月末に発生した九州北部豪雨や、9月、10月と東日本を中心に大きな被害をもたらした台風15号、19号など、大規模な災害が発生した年となりました。

北海道においても一昨年、胆振東部地震により多くの支援をいただいた経過にあり、JAグループ北海道として全国連と協力し積極的に支援をして参りたいと考えております。

国際貿易交渉については、昨年2月1日に日EU・EPAが発効となり、日米貿易協定は昨年10月

に署名がなされ、国会審議を経て12月4日に承認案が可決されました。日米貿易協定の影響試算では、1100億円の生産減少額のうち3〜4割が北海道への影響とみられており、JAグループ北海道として北海道農業への影響を最小限に食い止める対策や、生産者の不安を払拭することを昨年より国等に対して要請を行っております。

今後とも動向を注視し、北海道農業が犠牲とならないよう毅然とした対応を求めて参ります。

さて、JAグループ北海道は、昨年11月12日に第29回JA北海道大会決議事項の実践事例や現状の課題を、JAグループ全体で共有すること、内外に実践状況を発信することを目的として、JA北海道大会実践フォーラムを開催した

ところ です。

引き続き、組合員・JA連合会・中央会が一体となり、大会決議事項の実践に取り組み、基本目標の達成につなげて参ります。

結びになりますが、今年の干支は庚子（かのえね）です。子には「ふえる・しげる」の意味があり、種子の中に新しい生命がぎざし始める状態だといわれています。

今年はこの庚子年にあやかり、農業にとって輝かしい未来が芽生く年となること、併せて北海道農業並びに組合員、役職員の皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。新年にあたってのご挨拶と致します。

年頭のご挨拶

新年のご挨拶



清里町農民連盟

委員長

二俣 清史

新年明けましておめでとうございます。皆様には、輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、日頃より農民連盟の活動に際し、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返ると、時き付け作業は順調に進んだように思いましたが、5月19日から21日にかけての暴風により、農作物の被害が発生し、てん菜の補植や再移植、転作を余儀なくされ方々もいました。被害にあわれた方々には、お見舞い申し上げます。その後は干ばつではあったものの台風の影響もなく秋を迎え、野菜の価格は安値であります。豊作の年になりました。毎年ではありますが、1年を通して自然災害の被害が無い年はありません。私達の生活は、自然相手の仕事ですから自然の影響は大き

いのですが、それだけではなく農政にも大きく影響されます。TPP11をはじめ昨年2月の欧州とのEPAの貿易協定で農畜産物の影響が徐々に出てきている中、日米貿易協定までも今年の1月1日から発効し、農業をめぐる情勢はますます厳しい状況になります。日本はトランプの思惑通りに進んでいる、2016年の大統領選にトランプのとした対策は、国民に何が問題なのかを戦略として聞き取りをしました。問題は、北米自由貿易協定（アメリカ・カナダ・メキシコ）や中国・韓国・日本の自動車メーカーが進出してきてアメリカの労働者は失業をしいはじめ「自動車・鉄鋼などの貿易が悪いのではないか、自動車・鉄鋼産業を何とかしてほしい」と声が多く、トランプは貿易政策が論点で

あると確信して2国間でアメリカの有利になる貿易をするため、TPPから離脱を宣言し、当選した流れになっています。農業部門はもちろん、ねらいは自動車分野をなんとかするというトランプの思惑通りに進んでいます。日本は今まで攻めの交渉をしたことが無く攻め方が分からないといわれていますが、自国の産業を守る強い姿勢で臨んでもらいたいと思います。日本の自給率は37%とおちています。輸入をしなければなりません。輸入をしなければなりません。世界では人口が増加している状況で、自然災害も多発している中、エネルギーや水、食料を自国で自給出来なければ、何かあった場合60%以上も他国にゆだねているわけですから確保が難しくなります。国民の命を守るエネルギーや水、安心・安全な食料の

安全保障に国が力を入れなければなりません。輸入をすれば解決ではなく自国で安心・安全な食料を安定的に国民に提供することも考え、我々の生活を守って行くための関税撤廃の貿易交渉に断固反対運動を続けていき、輪作体系の維持を図る畑作構造転換事業の改善、所得確保と消費拡大対策、シロシストセンチュウ対策など、町内では鳥獣被害や国有林の日陰対策に、これからも国、関係機関と話し合いを重ね解決に近づけるよう運動を進めて行きたいと思っています。結びになりますが、本年が実りある1年であり、健やかに過ごせますことを心よりお祈り申し上げますとともに、盟友ならびに関係者の皆様のご理解とご協力をお願いし、新年のご挨拶と致します。

年頭のご挨拶

新年のご挨拶



ホクレン斜里原料所
所 長 中 山 伸 哉

新年明けましておめでとうございます。

令和2年の新春を迎え謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃より、てん菜生産振興、製糖工場運営並びに原料所業務に対し、組合員をはじめ農協および関係機関の皆様には、特段のご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

令和元年産のてん菜作況を振り返ってみますと、春先好天に恵まれたことより、播種定植作業は順調に開始されましたが、5月下旬の風害により再播・再移植や補植にご苦労された組合員さんが多くいらっしゃいました。ただし、その後の生育は概ね良好に推移し、褐斑病・根腐病・西部萎黄病等の病害、コトウムシ等の害虫についても非常に少なく推移しました。

特に西部萎黄病については、ハウスクリーニングや一斉防除の効果により、発生を抑えることができました。

このような状況のもと、清里町の生産実績については収量がおおよそ73t/ha、糖分が17.1%と平年を大きく上回る収量を得ることができました。これもひとえに組合員、関係機関の皆様の日頃からのご努力、気象災害への対応、土づくりや肥培管理の成果であるものと存じ、重ねて感謝申し上げます。

てん菜輸送については、8月に斜里来運地区においてジャガイモシロシストセンチュウ発生畑が確認されたことから、輸送時期・受口の調整が必要な状況となりました。加えて高生産量見込となったことから、早期輸送を10月8日、

中間輸送を10月11日から早い時期より開始しました。輸送中は概ね好天に恵まれ、都度輸送調整をしつつも3日程程度の遅れで中間輸送を終了しました。この間、防除地区では指定日での輸送やストックポイントへの堆積にご協力いただきました。なお、網走地区と同様、この間の輸送車両は荷台へのシート被覆を行い、車両や道路洗浄を実施する等、蔓延防止対策を実施しました。後期・庭先輸送については、輸送遅れ等特段のトラブルなく、皆様のご協力により完了することができました。

輸送業界においては、運転手や車両の不足が続いているうえ、勤怠管理に関する規制強化等、引き続き厳しい環境下にあります。このため、JAや組合員の皆様のご協力をいただき、出荷調整や大型

車両導入に取り組み、輸送効率向上が図られました。今後についても、輸送対策の諸取り組みを継続する必要がありますので、ご理解ご協力をお願い致します。

さて、清里町をはじめとする区域内において、畑作基幹作物であるてん菜の生産基盤維持に向けては、品種導入、栽培技術向上、輸送効率向上に取り組んでいくことが重要であり、今後とも生産地域に根差し、貢献できる工場を目指して参ります。また、ジャガイモシロシストセンチュウ蔓延防止対策については、発生区域の確認等、流動的な状況の只中にありますが、国・道の指針のもと取り組みを継続して参りますので、ご理解ご協力を賜りますようしくお願い申し上げます。

末筆になりますが、皆様方のますますのご健勝と本年の豊穡を心からご祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶

新年のご挨拶



網走農業改良普及センター清里支所

支所長

榮田 耕一

新年明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、ご健勝で希望に満ちた2020年の新春をご家族とともに迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。また、皆さまには日頃より普及センターの活動に対しまして、特段のご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

昨年の農作物の作況を振り返ってみますと、秋まき小麦は、特に越冬前の生育が秋期の高温により、近年にない過繁茂となり、起生期の茎数も極めて多くなりました。そのため、農業者の方々は、春の追肥散布時期を遅らせたり、追肥量を減らす等、より小麦の生育量に合わせた栽培管理に徹する等、ご苦労されたことと思います。また、4月中旬からは好天となり、ほ場の乾燥が進み、馬鈴しよの植

付作業やてん菜の移植作業等が順調に進み、平年より早く終了することができました。

しかし、5月20日～21日にかけて、ここ斜里郡3町に強風が吹き、強風とともに吹き荒れた土埃により、てん菜、馬鈴しよ、にんじん、玉ねぎを中心に大きな被害が出ました。「今年、豊作は望めないのか。」一瞬頭をよぎりました。被害を受けたほ場では、補植や再播、土寄せ（培土）作業等農業者の皆様への素早い対応が行われ、また関係機関の皆様の支援が実を結び、若干の遅れを伴いながらも回復傾向に向かいました。その後、秋まき小麦は開花期の好天と登熟期間の良好な気象に恵まれ、これまでにない高収量・高品質を得ることができました。春まき小麦も同様に、収量・品質とも平年を大きく

上回る結果となりました。馬鈴しよは、7月中下旬には高温・乾燥状態が続いた影響で、茎葉の黄変・枯凋が進み、黄変期は平年に比較し大幅に早まりましたが、収量は平年並以上を確保することができました。心配されましたてん菜は、最終的に過去に例のない程の高収量に至りました。豆類についても、順調な生育を経て収量は平年を上回る結果となりました。昨年は、これまでにない大きな強風被害に遭いましたが、皆様の機敏な対応と適切な栽培管理により、多くの作物が平年以上の収量を上げることができました。本当に一年間の農作業お疲れさまでした。本年の春作業までお体を十分休めていただきたいと思います。これからますます起りうると思われる異常気象（豪雨・強風等）

や土壌病害等に対し、十分なほ場環境対策の実施と高い栽培管理技術を持って立ち向かっていただきたいと思います。

近年は、TPPや日米貿易交渉等、日本農業を取り巻く国際化が進展する中、今後の情勢変化が本道農業にどのような影響が出るのか懸念されております。また、ICT機器の導入が一層進んできており、大幅な作業効率化が図られてきています。皆様におかれましては、これらのICT機器の有益な活用とともに各組織の力を活かした効率的な農畜産物の生産に努めていただきますよう切に願っております。

普及センターとしても、畑作4作物をはじめ畜産や露地野菜作物の安定生産を目指し、町やJA等の関係機関と連携しながら活動を進めるとともに、農家経営の向上および地域農業の振興に向けた支援を行って参ります。皆様にとって、本年が輝かしく豊かな年となりますように、併せて皆様のご多幸と益々のご発展をご祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶

新年のご挨拶



清里町農協青年部
部長 辺 見 裕 介

輝かしい新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。日頃より農協青年部活動に對しまして、農協・各関係機関の皆様をはじめ、たくさんの方々のご協力とお力添えをいただいておりますことに、改めて深く感謝申し上げます。また、深いご理解のもと、青年部活動にご協力いただいている部員、ご家族の皆様にも重ねてお礼申し上げます。

我々青年部は、目まぐるしく変化する農業情勢に柔軟に対応すべく、農協・各関係機関との連携を深め、組織活動の強化や担い手育成に力を入れているところであります。

昨年の活動を振り返りますと、農政部・農畜産部の学習会や各関係機関との懇談会、現地で直接見て触れて学習できる視察研修を行

い、部員の農業に関する知識や見聞を深めることができました。青年部恒例となっているソフトボール大会では、農協や各関係機関の皆様がたくさんのご参加・ご協力をいただき、部員との交流を深めることができました。前年に引き続き、各家庭で使っていないタオルを町内介護施設へ寄付する活動も行い、感謝の声をいただいております。担い手対策の1つとなっている異業種交流会も夏に開催致しました。数年前から継続的に行っている事業ですが、ついに昨年ここでの出会いをきっかけに数組のカップルが結婚されています。ご支援いただいた担い手協議会の皆様に感謝するとともに、引き続き良い知らせができるよう、企画運営していきたいと思っております。今年度、清里町青年部よ

り2名の役員を輩出したオホーツク青年部協議会主催の農水省ファームステイ事業は、農水省職員の方を招いて1泊2日で意見交換会、農協施設見学を行いました。また、新しい試みとして、農協・教育委員会・小学校・給食センター・青年部の5団体協同で取り組んだ食農教育活動「清小楽しいキッズスクール農園」や、産業まつり、オホーツク農業祭、農協収穫感謝祭において地元産食材を利用した清里焼きそば、砂糖の消費拡大を目的としたわたあめ販売を行い、地産地消運動や地元農業のPR活動を行ってきました。こうした活動を通じ、青年部員の更なる知識の向上と農業への意欲を高めるとともに、地域と農協、農家の関わりが深くなり、清里農業の発展や町の活性化につながってほ

しいと願っているところであります。

青年部活動の中で、青年部部长として、ホクレン中斜里製糖工場区域内でん菜振興協議会主催の海外視察研修に参加させていただきました、ドイツをはじめポーランド、イギリスの各地域を視察しました。また、オホーツク青年部協議会主催の道外視察研修にも参加させていただきました、横浜や東京で輸入農産物倉庫や国会議事堂、農業関係施設等の見学をさせていただきました。今回の貴重な体験や学んだ事を部員や地域の方々にお伝えするとともに、これからの営農に役立てていきたいと思っております。

最後になりましたが、農協、各関係機関の皆様には今後も変わらぬご指導、ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様方にとりまして明るい一年でありますように、また令和という時代が農業に関わるすべての人にとって良い時代となりますように、ご祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。

年頭のご挨拶

新年のご挨拶



JA清里町女性部
部長 前中房枝

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては希望に満ちた輝かしい新春を迎えられたことと、心からお慶び申し上げます。

日頃より、JA女性部活動に対しJA清里町はじめ、女性部員の皆様方にはご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

昨年を顧みますと、春の播種作業も順調に進んでいましたが、5月19日から21日にかけて今まで経験したことが無い強風が吹き荒れ、移植間もないビートの苗が飛ばされたり、植え付け後の馬鈴しょが露出する等大きな被害を受けました。補植作業や管理作業に追われましたが、農家の皆さんのたゆまない努力と生命の力強さにより回復できたことに、農業の力強さを感じました。9月に入り度重なる台風の上陸により、日本列島では

多くの災害が発生、尊い命や財産が失われたニュースを見るたびに悲しくなりました。一日も早い復旧、復興を願うばかりです。農業は自然との戦いですが、異常気象は今まで以上に進んでいると感じています。自分の身は自ら守ることを自覚していかなければと思いました。新しい年号が令和になって初めての収穫では、畑作3品の小麦、ビートは大豊作で馬鈴しょも平年作、酪農も平年並みで、これも春先の強風被害を懸命に乗り越えてきたご褒美かと思えます。さて、昨年の活動を振り返りますと、スポーツレクリエーションでは他の支部と体を動かしながら、笑顔と笑い声が溢れんばかりの交流の場にすることができました。恒例の視察研修では、旭川・美瑛方面にて、道の駅白金ビルケ、幻想的な青い池、広大な花畑せるぶの丘・亜斗夢の丘を見学し、旭

川『き花の杜』本店では、お菓子の製造工程を見学することができました。愛別の舞茸、えのき工場も視察し、今まで経験のないほどのことを購入しました。部員相互の交流、親睦を深めて、美味しい食事やショッピング等で農作業から離れてのリフレッシュができた視察研修となりました。研修会では、地元の「介護老人保健施設きよさと」の作業療法士である海下哲氏を講師に、「腰痛、足、膝の痛みの原因と解消法」について実技を交えてご講演いただきました。また、お忙しい中、各支部より食品・手芸作品、アトラクションと部員のご協力に感謝申し上げます。町やJAのイベントでは、産業まつりでのじゃがいも踊りやでん粉団子焼き、ロードレースのお手伝い、JA清里町収穫感謝祭等、今まで以上に部員や

地域との交流を深めることができました。

フレッシュミズ部会、アカシヤ部会においては、それぞれ世代間交流を深め、学習や健康管理に努めながら各活動に積極的に取り組んでいます。

農業を取り巻く環境は、昨年のTPP11、日欧EPAの発効、そして日米貿易協定が新年早々発効と、農業に与える影響が大きいのにしつかりとした議論もなく、今まで以上に乳製品や農産物の自由化協議に不安で一杯です。国はスマート農業としてロボット化やAI等を掲げますが、農家の基本は家族経営であり、農家の皆さんが安心して毎日が楽しく笑顔溢れる、そのような農業政策をとっていただきたいと思えます。

最後に、今年は東京オリンピックが開催され、日本中がワンチームとなることでしょう。私たち女性部も全員がチームに参加して力強くプレーし、住み良い農村社会づくりに貢献できるよう、取り組んでいきたいと思えます。今後とも関係機関各位の変わらぬご指導、ご協力をお願い申し上げますと共に、今年も豊作で、明るく希望に満ちた健康な一年でありますようにご祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。



餅まき

JA清里町収穫感謝祭 過去最高の来場者数で賑わう！

11月16日、第8回JA清里町収穫感謝祭がJA清里町駐車場で開催されました。

今年も清里町産野菜の詰め放題をはじめ、南瓜の重量当てクイズや餅まき、お楽しみ抽選会、女性部のでんぶん団子や青年部の清里やきそばなど様々な催事を行いました。

地産地消コーナーには町内のお店や団体にご協力をいただき、地産産食材を使った菓子や料理が販売されました。清里町産小麦を100%使用した清里切麦の販売ブースでは、同日より新発売となった「きよさとあんかけやきそば」が初御見え。歴代の切麦シリーズと共に感謝祭特価で販売され

毎年恒例、
詰め放題に行列



ました。

毎年人気の野菜詰め放題では、今年も開場後早々に長蛇の列ができ、開始と同時に多くの来場者が殺到して大賑わいとなりました。

また、昨年に引き続きご当地ヒーローによるキャラクタースhowが行われ、清里町ご当地ヒーロー「セイリユウジン」他、オホーツクヒーロー連合の仲間たちが登場し、子供たちの笑顔が会場に溢れました。

恒例の餅まきでは、ご来場の皆さんが買物袋などを持って集まり、「もっと投げて！」「こっちこっち！」と楽しそうな声が飛び交い、櫓から撒かれるお餅に手を伸ばしていました。

終盤のお楽しみ抽選会では、清

来場者で賑わう会場



ご当地ヒーローに
子供たちの声援！



中古車・農機感謝フェア



里町産長いもや野菜の詰合せ、清里町提供の清里焼酎、商品券・給油券、出展団体からもギフトなど、豪華景品を用意。石井組合長が抽選券を引く姿を来場者が固唾を呑んで見守りました。

第8回目を迎えた収穫感謝祭は、強風の中ではありませんでしたが天候に恵まれ、来場者数約500名と過去最高となりました。来年も皆様に楽しんでいただける様なイベントとなるよう、企画に取り組んで参ります。



1 集団『昭和のエンターテインメント』

第34回 J A 清里町女性部研修会 趣向を凝らしたアトラクションに 今年も大盛り上がり!

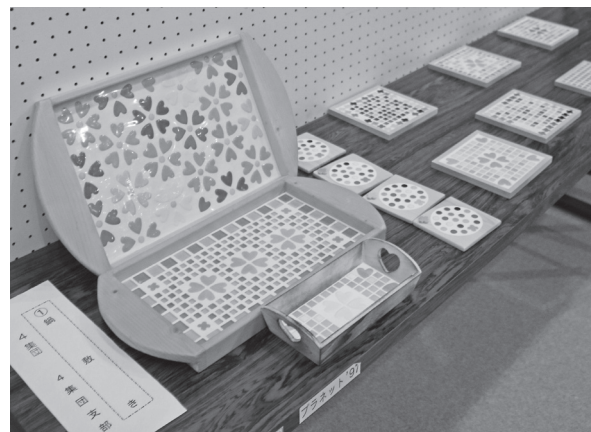
12月17日、J A 清里町女性部(前中房枝部長)は、清里町学習センターにて第34回女性部研修会を開催しました。来賓にJ A 清里町石井組合長、清里町柳引町長、網走農業改良普及センター清里支所榮田支所長、清里町農民連盟二俣委員長をお招きし、女性部員全員による綱領唱和で幕を開けました。

今年は「介護老人保健施設きよさと」の作業療法士である海下哲氏をお招きして、『肩・腰・膝の痛みの原因と解消法』の題目で講演いただきました。講演の中では肩・腰・膝の痛み予防に効果的なストレッチやトレーニングの実演もあり、会場の部員も体を動かしながら講演を聴きました。

アトラクションでは、今年も2つの集団が発表。1集団は『昭和のエンターテインメント』と称してザ・ドリフターズの『ヒゲダンス』や、早口言葉を披露しました。また、吹き矢で風船を割るパフォーマンスもあり、会場は大いに盛り上がりました。6集団による、演劇『大きなビート』では、女性部

員扮する大きなビートを引き抜くというオリジナルシナリオで、会場の部員や来賓を巻き込みながらのアトラクションとなりました。会場からは大きな笑い声も起こり、楽しい時間を過ごすことができました。

生活展出品作品には、各集団より工夫を凝らした料理・手芸品が展覧され、食品部門は3集団浅井あゆ美さんの『ごぼうの松前漬け』『手芸部門は4集団の『鍋敷き』が選ばれました。



生活展出品作品「4 集団鍋敷き」



海下哲氏による講演



女性部綱領唱和

落語と マジックショーに 大興奮！

11月29日から30日にかけて、共済課では新規共済契約者様48名を対象に、ウトロ温泉「知床第一ホテル」にて、温泉旅行親睦会を行いました。

ホテル到着後には、恒例の落語を五明樓玉の輔師匠にお越しいただき、披露してもらいました。間近で見る落語に会場は笑いが絶えず、非常に楽しい時間を過ごすことができました。

懇親会では三上専務の挨拶、乾杯を皮切りに、ビンゴゲームを開催。豪華景品のチャンスに当たった方も当たらなかった方も、一喜一憂しつつ会場は大いに盛り上がり

りました。

会席料理を堪能しながら、宴会のメインであります『ミスター・アガツク！マジックショー』で定番ネタの鳩だしから、アシスタント女性と繰り広げる箱に女性が入って剣を刺す大技イリュージョン等に緊張しながらも、すっかり魅了されました。

マジック終了後にはアンコールも起き、会場の方からのリクエストでその場にあるスプーンをあつさり曲げる等、皆さん近くで行われるマジックに目を奪われて驚きを隠せない様子で、あつという間に2時間の懇親会は終了致しま

した。終了後は『マジックも面白かったし、トークも面白かった』と皆さん大満足の様子でした。翌日には道の駅に寄り、皆さんお土産等を購入して思い出多き旅行となりました。

今回ご参加いただいた皆様からは、「継続してほしい」という意見も多くいただきました。誠にありがとうございます。これからも地域との絆を大切にしながら、農協事業や共済事業と地域貢献活動の取り組みを通じて、豊かで安心して暮らすことのできる地域社会づくりに努めて参ります。

令和元年度 清里町農協「温泉旅行親睦会」



農薬座談会実施

次年度に向けた 技術確認と意見交換

12月12日から13日にかけて、ホクレン生産資材課を中心に系統メーカーのホクサン㈱、クミアイ化学工業㈱、北興化学工業㈱のご協力で、農薬座談会が各営農集団にて実施されました。

各メーカーより、馬鈴しょ・てん菜分野における技術整理として病害虫の殺虫、殺菌、除草についてご説明いただきました。

馬鈴しょに関しては、ジャガイモシストセンチュウの防除における登録薬剤の作用や、除草剤について、疫病の予防散布・治療散布、アブラムシ対策が紹介されました。てん菜においては、既存除草剤の効果の再確認や近年発生が多い褐班病対策等が説明されました。

参加者からは、センチュウ対策の薬剤について、薬剤の残留期間、薬剤の混用方法、小麦の薬剤に関する質問の他、メーカーに対しての要望も挙がりました。

系統メーカーと生産者が細やかな部分まで意見を交わし、来年度

の営農に向けた情報共有と意見交換の機会となりました。



廃プラリサイクル回収

冬を目前に廃棄品を一掃

11月19日、今年度2回目となる廃プラスチック等のリサイクル回収が行われました。

今回の受入戸数は、組合員131戸(昨年11月実績129戸)となり、受け入れ重量は農ビ・農ポリ37,110kg、長いもネット16,000kg、総受入重量は

53,110kgとなりました。

今年度も2回実施した廃プラリサイクル回収であります。組合員各位のリサイクル意識の高さを改めて実感しているとところであります。今後も組合員各位の活動に対するご理解とご協力をよろしくお願い致します。



年末・年始の業務日程について

部 門 月 日	事 務 所 でん粉工場	金 融 課	資材センター	機械センター	給 油 所 (清里・札弦)
12/26 (木)	全 部 門 平 常 営 業				
12/27 (金)	午前中営業	営 業	午前中営業	午前中営業	営 業
12/28 (土)	休 み	休 み	休 み	休 み	営 業
12/29 (日)	休 み	休 み	休 み	休 み	休 み
12/30 (月)	休 み	休 み	休 み	休 み	営 業
12/31 (火)	休 み	休 み	休 み	休 み	午前中営業
1 月 1 日 (水) ～ 3 日 (金) までは全部門休業					
1 / 4 (土)	休 み	休 み	休 み	休 み	営業 (清里のみ) (10:00～15:00)
1 / 5 (日)	休 み	休 み	休 み	休 み	休 み
1 / 6 (月)	全 部 門 平 常 営 業				

エーコープきよさと店は年内無休、また、初売りは1月3日(金) 10:00～18:00となっておりますので、ご利用宜しくお願い致します。

年末・年始(正月)のATM稼働状況のご案内

年末・年始(正月)のATM稼働状況は、下記の通りとなっております。
ご不便をおかけしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

	JA清里町	コンビニ、ゆうちょ銀行、他JA(注)
12月30日(月)	通常営業 9時～17時	稼働：最長8時～21時 (コンビニATMは8時～22時)
12月31日(火)	休 止	稼働：最長8時～21時 ※休日扱いのため、手数料が発生します。 ＜取扱注意＞ 但し、1月1日～3日の取引について、 コンビニ、ゆうちょ銀行、他JAはご利用できますが、 他行ATMは利用できませんので、よろしくお願い致します。
1月1日(水) ～ 1月3日(金)		
1月4日(土) ～ 1月5日(日)		

(注) 取扱店舗によっては、ATMが稼働していない場合があります。

- ◎キャッシュカード盗難・紛失の事故が発生した場合
連絡先：JAバンクキャッシュカード紛失共同受付センター
TEL：0120-944-904 (24時間受付)
- ◎JAカード(クレジットカード)盗難・紛失の事故が発生した場合
連絡先：ニコス盗難紛失受付センター
TEL：0120-159-674 (24時間受付)

現金のお引き出しはお早めに！

あらかじめ現金をお引き出しいただく等のご準備をお願い申し上げます。

JA清里町 金融課

理事会の経過を お知らせ致します



第11回

11月22日

付議事項

議案第1号 令和元年産玉葱および長いもの融資単価の設定について
議案第2号 平成31年(令和1年)度規模拡大による出資増口について

報告事項

1. 平成30年産長いもの本精算について
2. 令和元年産原料てん菜の概算払いについて
3. 令和元年産原料てん菜の糖分状況について
4. でん粉工場操業の実績報告に

組合員状況

(令和2年1月1日現在)

■組合員数		(前回報告より)	
正組合員 (個人)	221名	(1名増)	
〃 (法人)	13法人	(変動なし)	
准組合員 (個人)	1,311名	(1名減)	
〃 (法人)	0法人	(変動なし)	
〃 (団体)	20団体	(変動なし)	
(合計)		1,565	

5. 令和元年産種子馬鈴しょ申込みに対する配布実績について
6. ジャガイモシロシストセンチュウ(GP)緊急防除の実施状況等について
7. 麦作センター操業の実績報告について
8. 農機・自動車展示会の報告について
9. 経営定期点検(10月期)の実施結果について
10. 第8回JA清里町収穫感謝祭の報告について
11. JA佐野に対する令和元年度台風等被災に係る義援金の支出について

年末・年始(正月)のJA共済からのご案内

年末・年始(正月)のJA共済の対応は、下記の通りとなっております。
ご不便をおかけしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

JA清里町 共済課 窓口	
12月28日(土)～1月5日(日)	休日

- ◎自動車事故に見舞われた場合
TEL: 0120-258-931 (24時間・365日受付)
- ◎レッカー移動や故障時の応急対応が必要な場合
TEL: 0120-063-931 (24時間・365日受付)

安全運転を心掛けましょう!

JA清里町 共済課

新年明けまして
おめでとうございます

令和2年 元旦

JA清里町 役職員一同



JA清里町 女性部



6集団支部



7集団支部



8集団支部



9集団支部



10集団支部



アカシヤ部会



1集団支部



2集団支部



3集団支部



4集団支部



5集団支部

発行／清里町農業協同組合

北海道斜里郡清里町羽衣町2番地
TEL 0967-55-1111 FAX 0967-4405

編集／組合だより編集委員会
印刷／星印刷工業株式会社